

東海大学 × 神奈川県住宅供給公社 連携プロジェクト 伊勢原団地見学会を実施～学生がリアルな現場を体験～

神奈川県住宅供給公社（理事長：浅羽 義里）および東海大学（学長：山田 清志）は、令和2年1月16日付けで締結した「団地利活用で地域創生を目指す連携協定（以下、連携協定という。）」に基づくプロジェクトの第1弾として令和3年8月より施工中の「伊勢原団地12号棟学生入居用改修工事（以下、本工事という。）」において、東海大学に在学する学生及び大学院生を対象とした現場見学会を下記の通り実施いたしました。

この見学会については連携協定のテーマの一つであり、本工事の発注者及び工事監理者である「[\(一般社団法人\) かながわ土地建物保全協会](#)」様、工事施工業者の「[奈良建設株式会社](#)」様のご協力を頂きながら、学生がキャンパスを出て「学外授業」を行い、学生のうちから外部との繋がりをつくることや伊勢原団地を学びの場として、学生が工事監理業務含め（建築途中の工事現場を実際に見られる等）実務を経験することで卒業後に少しでも即戦力として社会の一員になれるよう学生の教育を行うことを目的としております。

自分たちが頭で考えた計画がどのようにカタチになるのか、来年の3月の完成（予定）、入居に向けて、学生たちがリアルを学びました。

■ 計画概要

＜コンセプト＞ 住居部は、玄関から一体の土間を彷彿させるラウンジ・大きな窓があるキッチン・最小限のプライバシーを確保した個室という3つのゾーンに分けて様々な入居者に対応

- 住居については「2人部屋」を29戸設置
- 1階3住戸を 学生の利用だけでなく、地域活性化を目的とした共用部として設置

■ 完成イメージ（※ 現時点のイメージです。今後変更となる可能性があります。）



住居平面イメージ



住居部空間イメージ



共用部空間イメージ

（画像作成：[納谷建築設計事務所](#)（設計業務・設計監修業務委託業者））

■ 現場見学会の実施概要

- 日時：令和3年11月27日（土）10:00～12:00
- 場所：伊勢原団地12号棟 学生入居用改修工事 現場内
（神奈川県伊勢原市八幡台1丁目6-4）
- 対象：東海大学に在学する学生及び大学院生（14名参加）
- 内容：現場における工事監理業務等を経験

■ 見学会の様子（現状写真）



学生集合（連携協定及び工事の概要の説明を聞く学生）



住居部 現状の躯体状況及び今後の仕上げを確認



住居部 断熱材の施工を確認



LGS 建込を確認（施工業者の説明を熱心に聞く学生）



共用部 現状の躯体状況及び今後の仕上げを確認



疑問点をすぐ関係者に質問する学生

■ 見学会に参加した学生の声（抜粋）

- 実際の現場を見ることが出来て大変勉強になった。設計課題では意匠だけしか考えていなかったが、今後は設備の配置等も意識しながら進めていくことがより大事だと思った。
- 全国的に団地の老朽化が進んでいると聞いているので、この取り組みが一つのモデルになれば嬉しいと思った。
- 現場の声を実際に聞くことが出来、机上では分からない情報や技術を勉強できた。このような見学会をまた実施して欲しい。

■ 今後のスケジュール（予定）

- 令和3年8月～令和4年3月中旬 学生入居用改修工事
（外構工事のみ令和4年5月末まで）
- 令和4年3月中旬～ 学生入居開始

以上

【お問い合わせ先】

神奈川県住宅供給公社

賃貸事業部 設計監理課（佐々木）

東海大学

キャンパスサポートオフィス（近藤）

電話：045-651-1938（平日9：00～17：00）

電話：0463-50-2406（平日9：00～17：00）